

2016年8月14日 主日礼拝

司 会 ①村上洋兄 ②島田兄 ③新田兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②川田兄

3つの愛

賛 美 聖歌539番「見ゆるところによらずして」
(花咲く野原のように)(主イエスをほめよ)

聖 書 ① マルコによる福音書1章32～39節 (P52)
②③ ルカによる福音書10章1～12節 (P104)

音 楽 ① 倉知契師
②③ カルバリー聖歌隊&アンサンブル

証 詞 ① 三浦年子姉(ドルカス会)「母の戦時経験」

メッセージ ① 「勝ち取られたもの」 久保田豊伝道師
②③ 「First Say, "Peace ! ”」 岡村ケン副牧師

賛 美 「安けさは」(It is well) (476番・献金)

頌 栄 「シャローム・シャローム」アーメン

祝 禱 大川従道牧師

「どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』
と言いなさい。」(ルカ十の五・新共同訳)

【大和ニュース】

- ☆祝受洗！ ①鈴木幸雄兄(94才) ②鈴木睦姉(90才) * 鈴木進二兄のご両親。病末洗礼。
- ・ 本日、入門講座Ⅱ、SS主任、J.plus、YYタイム(12時半・森)。
 - ・ ヤンチャキャンプ(松原湖)・青年キャンプ(上田CC)。本日より16日まで。お祈り下さい。
 - * 東京カルバリーは5時。渋谷区広尾5-9-7、21世紀教会。説教は岡村師・大川師。
 - ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は菅原岳副牧師。
 - ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は石橋雄介補教師。
 - * 八代悦子姉は仙台に移転。奏楽とSS教師の奉仕、ありがとうございました！

石の枕

作家の生田長江(ちょうこう)に火口湖をうたった詩がある。(編集手帳より)
ひやかにみづをたたへて かくあればひとはしらじな

ひをふきしやまのあととも

人は知るまいよ。かつて炎を噴き上げた火山の跡とは。

広島と長崎の原爆忌をすぎて、終戦の日を迎える。その日にふさわしい配置といえるかも知れない。(「山の日」がどうしてこの日かはナゾ?)

『三浦綾子・366のことば』(日本キリスト教団出版局)は、さすが、三浦作品のいいとこ取りの珠玉の言葉集。

8月15日には「終戦」でなく「敗戦」と書いてある。「どんなに大きな体験をしても、心の深い所で真実に受け止めなければ、その体験は自分を何ら成長させない。」(『北国日記』)

「敗戦」とキチンと歴史を受け止めるべき、という人もいるが(私もその受け止め方を次の世代に伝えるべきと思っている一人)、しかし、「終戦」という表現にも意味がある、という人もいる。軍部は「絶対勝つ」と言っていたが、この戦争は必ず負けると言い切っていた人も多くいた。非国民といわれるので、口には出さなくても、「早く終わってほしい」「若い人のムダ死を見ていられない」「戦いの終わり」を祈願していたのが本心であったか。

ブラジルのオリンピック・イチローの3千本安打・夏の高校野球に隠されての「終戦記念日」。私たちは戦争は嫌いだ。大嫌いだ！人を殺すことも、人に殺されることも、二度とやってはいけない。ごめんこうむりたい。

オリンピックでも、中国や北朝鮮等々の国の若者が、日本には絶対敗けるな！という教育の下で挑戦してくるのが辛い。

『縮み志向の日本人』の著者で有名な李御寧(イー・オリョン)先生は、非常に立派な人格者。一度はお会いして、教えを受けたいお方。どの本で書いておられるか忘れたが、「ひとり勝ちはいかん。グーチョキパー文化はすばらしい」というのがある。勝つだけではなく、負けることを学ぶことも、ものすごく大切なこと。パラリンピックの障がい者たちの活躍も期待したい。一生を懸けて学ぶべきことを「生涯教育」という。ロマ5の1～5。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ローマ13章～Iコリント2章 Bコース:詩篇99篇～118篇